

校友会報

校友会の存在意義をいま一度考える

校友会会長
片山 喜久子
(昭和48年卒業)

校友会の皆さま、お元気ですか？

この夏は、酷暑といわれ猛暑を上回る暑さが続き、日本国内だけでなく地球規模で様々な異常気象の影響を受けました。台風の上陸や西日本豪雨など大きな被害が出て、いまだその爪痕は消えません。集中豪雨で二百人以上もの尊い命が奪われるなど想像を絶することが起きていることに驚きます。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。異常気象の原因は複数の要因が絡んでいるようですが、地球温暖化と言われ始めた頃から関係していることは確かです。さ

やかな人間の欲求が膨らんで大きな結果につながっているとも考えられます。我が家ではこの夏、エアコンの使用は九十六歳の母のために必須でしたし、そのために電気代がかさんでもやむを得ないと思いました。ようやく秋の気配を感じ始めた頃にほっとしました。自然現象には抗えない人間の無力さを感じながらも、今の自分にできる事を頑張るしかないと考えたところです。

さて、校友会の現状に目を向

けると、ここ数年の課題がなかなか達成できないことに心を痛めています。その課題とは、会員の顔が見える活動を展開すること、諸事業に多くの会員の参加を得ることの二つで、大変難しい課題です。

校友会は、設立27年目を迎えます。先の総会で承認された役員に、若いパワーみなぎる坂下諒さん、臼田沙織さんに加え、校友会の歴史を見守ってきた小山東男さんの三人体制の副会長がいます。校友会は、幅広い年齢層で構成されています。各層からの意見を聞きながら諸事業に取り組むことが大切ですので、今後の運営に大いに期待することができそうです。当然、課題解決の一步を力強く踏み出したとも言えます。

更に特筆すべきことがあります。それは事務局長の交替です。現在の校友会組織の基盤を固め、校友会の存在を内外に周知される運営にご尽力くださった石川潔前事務局長が退任し、大塚孔久新事務局長にバトンタッチしました。活動の内容は様々に

工夫しますが、石川さんが築いた校友会の真髄はしっかりと受け継ぎます。

そして、もう一つ、今年度から事務作業の一部を「敬愛サービス」に外部委託をして進めていきます。大学の事務室には大学と校友会の連絡係をお願いし、意思の疎通を図りながら明朗運営を心掛けてまいります。

今年私は、NHK大河ドラマ「西郷どん」を毎週見ています。「敬愛愛人」の精神がどのようなものであるか、ドラマで描かれる西郷隆盛の姿を通して、千葉敬愛学園の建学の精神と重ね合わせて見ています。人を大切にすることは、頭でわかっていても実際に行動で表すことは意外と難しく、組織の中では見失いかねないことでもあります。西郷隆盛の己の信念に沿った言動に改めて魅せられています。そして、校友会の存在意義もぶれないものでありたいと思うのです。学んだ時期は異なっていますが、校友会の会員は敬愛愛人の精神を学んだ仲間です。だからこそ会員相互の交流の機会をもっと

多くしていきたいと思うのです。

今年の敬愛フェスタに二日目に、昨年から始まった大学企画のホームカミングデイが開催されます。校友会も支援します。是非皆さんで懐かしいキャンパスを訪れて、フェスタで遊んだり、プログラムを楽しんだりしたあと、後夜祭の花火を一緒に鑑賞しませんか？若い方も、頑張っていることや辛いことを語り合いましう。言葉に出すことで自分の中から解決策が浮かび上がってくることも多いものです。先輩の方々も若い方との交流を通して、層充実した活動ができる力が湧いてくることでしう。旧友と誘い合って参加してみましよう。

今年も新たに幹事として森川美穂さん、前島芽実さんが委嘱され、若い幹事さんがそろいました。皆で会員のための組織を築き上げていきたいと思ひます。役員の皆さんが持てる様々な「敬愛愛人」の実践力を「期待ください」。

今年も、敬愛フェスタ等で会員の交流を深め、校友会の存在意義を実感していきましよう。

「KEIAI☆フェスタ2018」

KEIAI☆フェスタ
実行委員長 櫻内 明香 (2年)10/27(土) ▶ 10/28(日)
KEIAI☆フェスタ開催!

こんにちは。平成30年度KEIAI★フェスタ実行委員長を務めさせていただく事となりました櫻内明香です。本学の名物とも言えるKEIAI★フェスタの実行委員長を務める事ができてとても嬉しく思います。

昨年、台風の影響で中止になってしまった分まで、成功に向けて一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。夏休みから各部署、スタッフ全員が準備を始めています。

昨年、最後まで行う事ができず、何も分からない状態から今年は始まりました。皆で話し合い、分からないからこそ、自分たちの“色”“意見”を出し、KEIAI★フェスタを作り上げていきたいという思いから今年のテーマは「彩」となりました。先輩方の悔しい思いと共に、私達なりに一生懸命に準備に取り組み、最高の学園祭にしていきたいです。

サブテーマは「まっしろなキャンパスにいろどりを」。何も

「学生会での経験とこれからの成長」

学生会長 高梨 靖乃 (2年)



こんにちは。平成30年度学生会会長の高梨靖乃です。私は去年の3月から学生会長として学校を盛り上げるため、たくさんの行事に取り組んで参りました。

私が初めて関わったのはリーダーズ研修会でした。旧学生会の先輩にもアドバイスをいただき、司会進行を務めました。次にあった行事は予餞会でした。1年間お世話になった先輩を送り出すため、現学生会が丸となって行事に取り組みしました。先輩方に頼りきっていたことを改めて感じ、学校全体を動かすことの大変さを学びました。4月には新入生歓迎会がありました。新1年生に「敬短に来てよかった」と思ってもらえるよう各部活動と協力して精一杯盛り上げました。その次にあった行事は学生会が運営する中で1番大きな行事の学生総会でした。運営を全て学生会が行ったのでとてもやりがいを感じました。特に印象に残っているのは資料作りで全校生徒、先生分の資料を作るのは今までに

分からない、まっしろな状態から、沢山の意見を出し合い私達にしか作ることのできないものを作り上げ、ご来場いただいた皆様に楽しんでいただけたらいいなと考えています。10月の本番まで、まだ時間はありますが、スタッフ一丸となり今まで以上に頑張ります。ご都合がよろしければ是非お越しください。学生による、学生が中心となり考えた手作りの学園祭を楽しんでいただき、沢山の笑顔で溢れかえることができれば幸いです。皆様のご来場、心よりお待ちしております。



ないくらいの枚数でした。資料の内容にもミスが無いか部長、委員長と連絡を取り合い完成させました。夏になると全国私立短期大学体育大会壮行会がありました。リハーサルでは予定が合わず来られない学生もいましたが、本番ではリハーサルでの内容を直前で確認しやり遂げることができました。

勉強と部長、学生会会長の両立は私にとってとても大変でしたが、今となってはやって良かったと思っています。会長として至らないところも多々ありますが、8人の学生会執行部のみんなが助けてくれたおかげで今までやっていくことができました。また、今年は学生会が主体となり学生全員が楽しめるクリスマスパーティーを企画しています。これからのさらなる成長を目指し、敬短を盛り上げていきます。学生のうちにこのような貴重な体験ができて感謝しています。今まで行ってきた活動は経験となりこれからの進路先でも役に立つと思っています。あと半年、学生会会長として全力で頑張っていきます。

度々、申し上げていきますように、2020年に千葉敬愛短期大学は創立70周年を迎えます。人間でいえば「古稀」になります。「敬短」はこれまでに50周年、60周年の記念事業を行ってきました。今回の記念事業はこれまでとは違った状況下にあります。

一つは、少子化時代の到来と四年制大学への進学者の増加で、短大への進学者が減ってきている現実があります。短大の持続的な維持が困難になりつつあります。努力はしていますが、定員割れの可能性



西郷隆盛について少し調べてみようと思ったことは、NHKの大河ドラマ西郷どんが放映され毎週楽しみにしていた。そこで気になったことが、どうして上野公園に西郷隆盛の銅像があるのだろうと思ったことです。上野公園に行ってみました。銅像には、やはり由来が書いてあり、敬天愛人も大きく彫刻されており隆盛の信条であると記されておりました。

また上野の森に建立された理由としては、明治維新の基礎を確立したことや、上野の森で戦いがされようとした所を止め、江戸城の無血開城を実現、江戸を戦禍から救ったことは有名なこと。二度に渡り島流しに会い一時は逆賊とされたが、明治二十二年明治天皇の特旨により賊名を除かれ正三位を贈られた。これに感激した隆盛の旧友吉井友美が同志と共に建立したと記されています。



親目線での教育

校友会 副会長 坂下 諒 (平成24年卒業)

昨年の四月に第二子が誕生しました。生まれる前、教職の先輩方から、「子供が生まれると指導観が変わるよ。」と言われていました

が、なるほど確かに、私も親になってから、教室の子供たちへの関わり方が変わったように感じます。

今年度は六年生を担任していますが、学級の数も三十八人と多く、時には厳しく指導しなければいけない場面もあります。教えたちはもちろん、皆かわいいのですが、指導がうまくいかないと、児童に対して苛立ちを覚えてしまうこともあります。しかし、我が子が生まれてから、「どの子も皆、親にとって本当に大切な宝である。」ということをより意識できるようになりました。

子供を産み育てることは、当たり前のことのように思っていました。が、実はとても大変です。まず健康に学校に通わせていることに敬意



70周年記念事業準備委員会を立ち上げる

千葉敬愛短期大学 学長 明石 要二



度々、申し上げていきますように、2020年に千葉敬愛短期大学は創立70周年を迎えます。人間でいえば「古稀」になります。「敬短」はこれまでに50周年、60周年の記念事業を行ってきました。今回の記念事業はこれまでとは違った状況下にあります。

一つは、少子化時代の到来と四年制大学への進学者の増加で、短大への進学者が減ってきている現実があります。短大の持続的な維持が困難になりつつあります。努力はしていますが、定員割れの可能性



が高まっています。

もう一つは、短大の稲毛キャンパスへの移転問題があります。佐倉キャンパスができて30年がたちます。校舎の維持管理が難しくなっています。改修の必要が生じています。と同時に将来の人口動態を見ると受験生の多くがいる都市部への移転が避けられなくなっています。

そこで、70周年の記念事業は「敬短」の次につながるもの

にしていかなければなりません。「教育と保育の敬短」の維持・発展がキーワードとなります。

このキーワードを実現させるために記念事業準備委員会を立ち上げました。学内の副学長を座長にし、教員と事務方、それから校友会会長、教育後援会の会長の方々にもご参加いただきます。すでに第1回は開催されました。

ここでは、例えば、敬愛短大の魅力を発信し、受験生を恒常的に増やしていく施策を考えていただくつもりです。男子学生の入学が少ないのでどうすれば入学者が増えるか、を提案していただく。例えば、二桁の学生に入学金等を援助するのです。



また、卒業生に対するサービスが少ないので多種多様な施策を提供する。免許更新が10年に二回あります。その財政的な支援はできないか、卒業生のスキルアップのための研修を提供できないか、などです。校友会を中心とした同窓生の集まりを活性化するのがです。

さらに、記念事業には在校生たちの参画も考えています。〇〇記念事業はややもすれば、「大人」たちが中心となる傾向があります。学生の柔らかな発想に期待するのです。例えば、学生たちの日常の学習成果を披露できないか、検討してみたいと思います。

そこで、お願いがあります。私たちだけでは井の中の蛙になりかねません。是非、同窓生の皆様の大胆な発想とユニークな提案をいただきたいのです。みんなで記念事業を作り上げたいと思っています。ご意見をお待ちしています。

を持ち、保護者の、そして子供の気持ちに寄り添った指導をしたいと思うようになりました。また、どんな子でも我が子と同じように、誕生から今までの素晴らしい思い出があり、これから素晴らしい将来があるのだと考えると、教師という仕事は本当に大きな責任のある職業であることを、改めて感じます。

保護者は学校、そして担任に期待をして、信じて毎日学校に送り出しています。近年教職者による不祥事が多く報道されていますが、やはり我々教員は児童保護者から信頼される存在でなくてはなりません。いずれ私の子供も小学校に入学する時がきますが、一日の大半を子供と過ごす先生に、期待して入学させると思います。自分自身も当然、「この先生でよかった」と思われるような教員にならなければいけないと強く感じます。

若い世代がどんどん増え、私も教員七年目にして本校では学級担任の中では半数以上が後輩になりました。後輩たちの手本になれるよう、先輩たちを見習いながら、信頼される教師を目指して日々精進していきたいです。



本年度より、事務局長を担当いたします。前任の石川潔さんが組み上げて下さった現体制を維持しながら、新しい時代を見据えた校友会活動が行えるよう頑張りたいと思っています。

さて、今年度から会計年度を4月から3月までと変更いたしました。また、事務局作業の一部を敬愛サールビスに業務委託しました。

これにより、予算の安定的な執行と業務の効率化を図っていきます。ところで、来年5月元号が改められます。本会報も、平成最後の発行となります。新しい時代に向け校友会ではいくつかの取組を始めました。

1つ目は、ホームカミングデイの開催です。本年度は、敬愛フェスタの最終日10月28日です。フェスタのイベントとコラボレーションをした内容を考えています。

2つ目は、平成生まれの役員さん



石川 潔 (昭和42年卒業)

やフェスタのイベント協力者を増やすことです。本年度から副会長に2人の平成生まれの方が就任されました。この2人の方の活躍で、同世代の幹事さんや在学生とのパイプがどんどんつながってきています。若い方の声をどんどん吸い上げて新しい校友会の活動を作り上げていこうと考えています。

最後になりますが、2020年は千葉敬愛短期大学にとって創立70周年になります。校友会としてどのように関わられるか2年をかけて検討をしていきます。会員の皆様にも2年後の創立70周年記念事業が成功するよう、ご理解とご協力をよろしく願います。

この度第26回定期総会に於きまして、事務局長を退任致しました。任期中片山会長はじめ役員の方々には大変ご指導ご協力を頂きあり

園内研修を通して学んだこと



白田 沙織 (平成25年卒業)

私はさくら敬愛保育園に勤務しており、今年度は0歳児の担任をしています。乳幼児期は、子どもたちにとってこれからの長い人生の中で土台となる大事な時期であることを忘れずに保育するように心がけています。

さくら敬愛保育園では、毎月職員会議と園内研修があり日々の保育を振り返ったり、保育指針を読み保育の理解を深め、どのように実践していったら良いかを話し合ったりしています。園に勤めて4年目となり少しずつ保育について理解できるようになり、目の前の子どもの姿を見てこうしたら「子どもにとって」良いかなと考えながら保育できるようにになりました。

園内研修や職員会議でもよく「子どもにとって」という言葉が出てきます。例えば、1歳になったばかり

です。べり台に興味を持ち登ろうとした時に危険だからと大人が止めてしまふのではなく、子どもの「やりたい」という気持ちを大切に保育者が見守り、できるようにすることが大切です。また、手洗いや衣服の着脱では「自分でやりたい」と言っている時に時間がかかろうとやりたがる時もあれば、「先生やつて」とできるようにもなつてからも甘えてくることもあります。そんな時どのように関わったら良いのか悩んだ時には、「子どもにとって」どうかと考えることの大切さを保育園に勤めて学ぶことができました。

先日の園内研修で先輩の先生が参加した研修の報告がありました。その研修の中で「働きやすい環境作り」というお話がありました。日頃から園長先生も保育園は「二軒の家」みんなで支え合うことや相手を思いやるのが大切であり、保育者の関係が上手くいくことがより良い保育に繋がると教えてもらいました。

研修報告では、人間関係を円滑にするポイントとして4つポイントがありました。

①お互いのちがいを受け入れる
②共通の目的を確認する



③批判ではなくその人の思いに焦点を当てる
④陰口や文句は要望として捉え直す

というお話がありました。保育をしている中で時には保育観の違いから上手いかない時もあります。でも、そのような時にお互いが相手の話を受け入れたうえで、保育について一緒に考えていくことが大切であると改めて思いました。私も自分より年下の先生や実習生に何かを伝える時には、相手の行動の裏にある気持ちを考えたうえで一緒に保育について考えたり、伝えたりできる保育者になりたいと思いました。

私は、保育士を自分の天職であると思っています。これからもたくさんの子どもの成長を見守りながらも多くの学びがあるこの職場でたくさんのかを吸収しながら保育者として頑張っていきたいと思っています。

富澤会長の時に学長が伊藤学長に代わり、校友会の自主的立場を理解していただき、校友会も体制的に徐々に確立されてまいりました。

又伊藤学長より、校友会の会費は他の学校から見ても15,000円は安いので、倍の30,000円にしてはと助言を頂き総会で決議実施、このお陰で予算的に倍の力を得ることができ、校友会の事業が更に広がり飛躍的に伸びました。

今年の総会で、若い坂下副会長に加えて女性の白田副会長が加わりました。又若い方々が総会に出てこれられ、今までなかなか役員であつても出られない年配の役員が退任され、役員全体若返り活気あふれた体制になりました。

70周年を控え片山会長はじめ新事務局長、役員の方々学校と一体となり校友会の更なる充実発展を願うものです。





二、国家の形成

上総の国は飛鳥時代に誕生したようです。

「和名類聚抄」に「上総国府・市原郡に有」と記されており、その中心となる国府は、場所は不確定ですが市原台地に置かれ、平安時代に隆盛を誇り、国司として赴任した菅原孝標の娘が著した「更級日記」は有名です。

三、寺院

奈良時代に社会不安を治めるため聖武天皇の勅命により全国に建立された国分僧寺・尼寺は市原の規模が最大級という国指定の1級史跡となっています。(国分尼寺の

本校行事等に 参加を！



富澤 惇
(昭和31年卒業)

最近本校を訪れたことがありますか。ご承知のようにJR物井駅から徒歩5分です。そこから佐倉城址は、直線で約6km、京成佐倉から約10分の所にあります。この城は千葉氏の族、鹿島幹胤(もとたね)が鹿島台に築いた中世の城郭を基に、江戸時代初期に土井利勝が築造したものです。水堀、空堀、土塁で築かれ、東に武家屋敷と町屋を配して城下町としています。

幕末の藩主堀田正睦は、日本を開明した老中として有名です。明



れた弾薬庫跡、遺構で土台コンクリートが転がっています。そばに武器庫(現存)もあり暗い森で、当時初年兵が昼夜歩哨に立っていたという。気持ちの良い所ではない。登って

治維新には陸軍歩兵大ニ連隊が置かれ一九四五年まで続いたが、その間、櫓や門が取り壊されたという。旧くなったとはいえ、真に残念である。昭和五十四年から水堀、出丸跡等、復元、整備されつつあり現在に至っています。

京成佐倉から交差点に着いたら左に愛宕坂、もう城です。両側に水堀、すぐ田町門跡、坂を登りきると右に国立歴史民俗博物館、隣に巨大な馬出し空壕があります。左側は駐車場で、その奥に見付けにくいのが、軍犬房号と軍馬北盤の墓があります。戻って道を10m行き左の坂を下ると姥が池。昔乳母が若君を遊ばせた際、誤って溺れさせてしまった悲しい話が伝わっています。(スイレン、5月下旬〜8月中旬、満開)その先に菖蒲園、兵士訓練用の十二階段が観られます。池の南側の丘に登ると土塁に囲ま



回廊が再現されています。

以上、市原の歴史の一端を紹介しましたが、2012年市原市朝生原「梅が瀬溪谷」で約90万年まえの「トド」の化石が発見され、更に昨年は市原市田淵地先で77万年前の地磁気逆転地層「チバニアン」が話題を呼ぶなど小湊鉄道沿線の養老溪谷は観光の魅力も秘めています。



小島 とみ子
(昭和44年卒業)

大震災に思う

猛暑続きに台風連発の今夏も、漸く爽やかな秋を感じる頃となりました。

千葉県は割合自然災害の少ない土地柄だと思いますが、関東にあっても大暴風雨に見舞われたり、架線事故など様々な災害が後を絶ちませ



右側に行つて少し戻ると二の丸の入口に榎木門跡がある。トイレに向かうと右側に藩主堀田正睦公像、本丸の門跡を過ぎると、天守閣跡や夫婦モッコクの兵士の落書きあとが見られ、浅間神社跡の築山の頂上からは天候により富士山が見られます。

その他、連隊本部跡や軍病院跡、兵士のトイレ、蛸壺などがあります。

季節により、春は桜、ボタン、ハナ

ん。常に台風の目に晒される南西諸島や九州の方々には、二層大変である事の思いを深くしております。

東日本大震災から四年八ヶ月、その後も御嶽山の爆発、箱根や桜島の活動が懸念されておりますが、私はこの春ネパール、エベレスト街道をトレッキングしてきました。

二千M〜四千Mの山道をポーターの助けを受け二週間の行程を完破し、十分に燃焼して帰国しました。まさに、二ヶ月後の4月25日、ネパール大地震が発生し、私の歩いた山の集落、下山してから観光して回ったカトマンズの町、王宮の周辺や由緒ある寺院、そして庶民の暮らす家屋の凄まじい倒壊に目を奪われました。

8500名以上の犠牲者をだし、果たして山で世話になったポーターや山岳ガイド達は無事だったのか、只々連日の報道に耳目を傾けるのみでした。早や5ヶ月が経過し、今は情報も薄くなりつつありますが、大勢の被災者が苦悩している姿を思うと、すぐにも現地へ行きたい衝動に駆られます。

東日本大震災には大勢のボランティアが各地から駆けつけ、瓦礫の撤去や被災者救援の姿をテレビで見続けてきましたが、私には当初ボラン

ショウブ、イロハカエデ(11月上旬)、ヤブツバキ(12月上旬)アジサイ、イチヨウ(11月上旬)などの植物が繁茂しています。

是非、校友会総会や敬愛フェスタ、さつき祭り等に訪れて、参加したり旧交を暖め、併せて佐倉城址を観ていただけたらと思います。

市原の歴史を 訪ねて



大野 宣剛
(昭和42年卒業)

今年80歳に仲間入りいたしました。今迄あまり地元の歴史には関心がありませんでしたが、市原市の主催する市民大学に入学し、多くの歴史が埋蔵されていることを再認識いたしました。

一、古墳時代

県内の古墳群12か所のうち、6か所が市原市内にあり、関東有数の勢力を誇っていたことが伺われます。

東日本最古を誇る「神門古墳」をはじめ「王賜銘鉄剣」の出土した「稲荷台古墳」が特に有名です。



ティアをしようという勇氣がありませんでした。余りの惨状に近寄りがたい畏怖が先にあり、三年を経て漸くボランティアへ向かう事が出来ました。南三陸町や南相馬市へ何度となく足を運び、今は原発による家屋からあらゆる物を廃棄物として大型トン袋へ詰め込む作業をしています。それは真新しい布団や食器、書籍などありとあらゆる物を感情抜きに処理することです。

ネパールに思いを馳せる時、私に出来る事は細やかな幾度かに亘る寄付金と復興を祈るのみです。ボランティアで学んだ言葉に『出来る人が出来る時に出来る事をする』海外は遠いけれど無理せず継続して行こうと心に決めております。

た遣唐使の中に日本の平安仏教を確立した、天台宗の開祖、最澄や真言宗の開祖、空海（弘法大使）がいました。

四国のお遍路88か所めぐりは今でも盛んですが、この西安市にある青龍寺は、空海が仏教を学んだことから、札所の起点（0番札所）になっています。

西安市内の真ん中に立つシンボルタワー「鐘樓」を中心に東西南北に道路が走りそれを基準に碁盤のめのように道が通っています。京都の町並みはこの町を模範に作られていますのでよく似ています。

市内に残る城壁は世界最大で一周約14km、高さ12m、底の幅18mあります。

城壁のうえはとても広く幅12mありレンタル自転車や電気カーブ一周することが出来ます。

城壁の周りを囲む城壁公園で早朝からきれいに掃除をしているのは国家公務員ですが、その他にストレッチ、太極拳、ダンスと思いに楽しむ20人位の集団を何組も観ることが出来ました。

今回「一番の見学目的は、1987年世界遺産に登録された「兵馬俑」です。

夏休みの思い出



内田 依里
(平成28年卒業)

私は、社会人になり3年目を向かえました。幼稚園は、7月末から

中国の観光で人気なのは万里の長城でしたが最近「兵馬俑」に変わりつつある様です。まだ発見されて40年あまり、全体を発掘するのに100年計画で進めているそうです。

今から約2200年前中国戦国時代に最強軍隊を要したのは秦国でした。

その軍隊の将軍や兵士はどんな顔をしていたか、それを「兵馬俑」で見ることができました。

秦の始皇帝のお墓を守るように地中に埋められた人形はおよそ8000体。

現在公開されているのはほんの一部ですが、実際見るとその規模に圧倒されました。中国の誇る世界遺産「兵馬俑」はおすすめです。

8月末まで夏休みになります。先達もお休みをもらい、リフレッシュをすることが出来ます。私は休みを利用し、大好きな野球を甲子園に観に行ってきました。今年の高校野球は100回大会という記念大会でした。甲子園球場には多くの高校野球ファンの人が集まり、例年になく混み具合でしたが、木更津総合や沖縄代表の興南、準優勝した秋田代表の金足農薬など沢山の試合を観戦することができ、とても楽しい思い出となりました。好きな事に沢山時間を使つたあとは、2学期に向け行事の準備期間として夏休みをすごしました。最高の



現代には、多くの問題がある。非正規社員、フリーターや、ニートの増加、働くことにやりがいを見いだせない大人や、それを見て育つ子ども。また日本には、多くの借金がある。新生児は、生まれた瞬間から、約八百万の借金を背負っている。そして、少子化の問題により、少ない若者で多くの高齢者を支えていかなければならない。更に、AIやロボットの開発により、人間の労働力よりもはるかに低コストで、大量生産が可能になる。それに伴い、私たちの職業生活は、大きく変わるだろう。

このような変化の激しい現代を生きていくために、「生きる力」の

これからの教育のあり方



大沼 博明
(平成28年卒業)

夏休みをすごしたので、最高な2学期になるよう、子どもたちと一緒に全力で過ごしたいと思っています。



早、穴川キャンパスの学び舎で卒業し49年が経ちました。

自分自身が通っていた幼稚園の先生に憧れ、幼稚園教諭を夢に、願いが叶い40年余り幼児教育に携わってまいりました。

母校とのご縁は、キャンパスが佐倉に移転後です。恩師である堀田先生が学長になられた時期に、校友会の会長依頼があり、その後非常勤講師依頼と、色々な体験をさせて頂きました。

校友会会長を務めた頃を振り返りますと、校友会自体が基盤づ

母校への想い



蜂谷 幸子
(昭和45年卒業)

くりの時期で、大先輩の方々が一生懸命ご尽力されておりました。

元学長の堀田先生は、現在の学生は殆ど女性であるので、是非女性にお願いしたいとの事でした。初めての女性会長という事もあり、不安でしたが、微力ながらお役目をさせて頂きました。その頃は、学校側への依存が多く全ての事が不十分で微力であった事を、思い出します。

校友会も、これまでに多くの方々の想いや努力がありましたので、感謝しながら、これからも校友会が益々充実して遂行されますように、私も出来る限りお手伝いさせて頂きたいと思っています。

非常勤講師は、幼稚園勤務しながら二科目（幼稚園教育実習Ⅰ）の授業でした。その後幼稚園退職後、教師論、教育保育課程論等、授業を担当し充実の日々を過ごさせて頂きました。母校で教鞭をとる経験もさせて頂き10年余経ち、この度定年退職となります。

幼稚園教育の実践をふまえ、現状をしっかりと伝え、求められる教師像を如何に二一年間で目標を明確にできるか、後輩でもある学生の皆さんと共有したいと、心を込めて過

シルクロードの入り口、西安を訪ねて



伊藤 ツネ子
(昭和49年卒業)

今年の3月下旬に、成田空港から直行便に乗り約6時間で到着できる中国の西安市内を見学するツアーに参加しました。

ごしてきました。机上の学習を基礎とし、実務、社会人として、教師として人間性の重要さを伝える「蜂谷節」とまで言われましたが、「生きることは仕事・仕事は掃除・掃除は整理整頓・整理整頓は仕分け」の如く、子ども達のお手本となる自覚を持ち、自己発揮し、謙虚さを忘れず人生を楽しんで欲しい事を伝え続けてきました。

子ども達から学んだ「元氣・正直・豊かな発想」をモットーに、母校在つての現在の私ですので、これからも千葉敬愛短期大学に感謝し、側面から応援してまいります。

西安は、シルクロードの入り口であるとともに古代中国の諸王朝が都を置いたことから旧跡が豊富です。唐時代（904年迄）は長安と呼ばれ、日本は遣唐使を送って優れた政治制度や美術や文化を吸収しました。

聖武天皇のころ国際色豊かな天平文化が花開き天皇や貴族中心の華やかな文化を生み出しました。現在に残る東大寺の正倉院に残された宝物はその一部です。唐時代の詩人は李白、杜甫と日本でもよく知られた大家が輩出しています。ま





「ホームカミングデー」が 開催されます

学生部長 大野 雄子

「おかえりなさい」この言葉で懐かしい卒業生のみなさんをお迎えできることは、私にとってかけがえのない喜びです。平日勤務が休みの日に短大に訪れてくださる卒業生、教員免許状更新講習や採用試験対策講座に参加して下さった多くの卒業生のみなさん、また日頃の学生の部活動や行事に積

極的にご支援くださる卒業生と、久しぶりに元気な様子を拝見できるにつけ、「卒業後も元気に仕事を続けてくれてありがとう」「幸せな毎日を過ごしてくれてありがとう」「教育者・保育者として将来を担う子どもたちのために愛情を注いでくれてありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいになり、話は尽きることがありません。

2年間という限られた中にも、まるで家族のように想い合い、当たり前

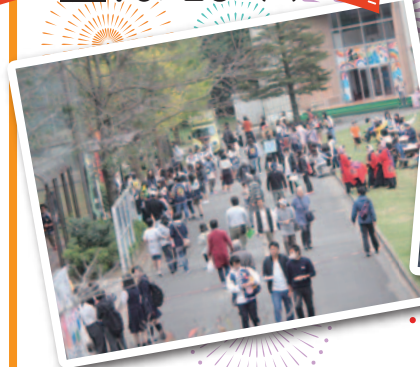
の居場所で、当たり前毎日を共に過ごしたことは、年月を経ても色褪せることはありません。

昨年から設けられた「ホームカミングデー」は、皆さんと教職員が再び集まり、近況を語ることができる場です。今年は、KEIAI☆フェスタ最終日となる10月28日(日)の昼から夕方の花火大会(軽食と記念品をご用意しております)にかけて開催する予定です。「敬天愛人」の想いと願いのもと、これからも仲間で支え合い、学び続けることを大切にしていきたいでしょう。

大学は、卒業生によって支えられています。みなさんの一人ひとりが笑顔で毎日を過ごす、それこそが千葉敬愛短期大学の支えとなり、未来を拓きます。どうか「ホームカミングデー」には、お誘い合わせのうえ、「ただいま」の言葉とともにお気軽にお帰りください。

ホームカミングデー

開催10月28日(日)



Message お便りお待ちしております!!

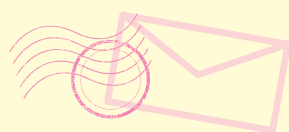
本短大卒業生の近況や思い出を掲載するコーナーです。事務局では会員の皆様のお便りを、お待ちしております。どんなささいな事でも、かまいません事務局までお送りください。

原稿郵送先

〒258-8567 千葉県佐倉市山王1-9 千葉敬愛短期大学 校友会事務局まで

FAX:043-486-2200(24時間受付)

千葉敬愛短期大学 ホームページ <http://www.u-keiai.ac.jp/junior/>



習得が必要である。確かな学力、豊かな人間性、健康体力の知・徳・体をバランスよく育てることが大切である。確かな学力では、基礎基本を身に付けるために、学習内容の明確化や、他の単元に応用可能な能力を身に付けることが求められる。豊かな人間性では、授業でグループ活動を多く取り入れたたり、特別活動を利用して、他学年との交流をしたり、道徳教育で登場人物の気持ちを読み取ることにより、他人を思いやる心や感動する心を身に付けるようにする。健康体力では、体育科の学習や、休み時間の外遊び、クラブ活動や部活動を通して、健康でたくましい身体を作る。また、キャリア教育も大切に



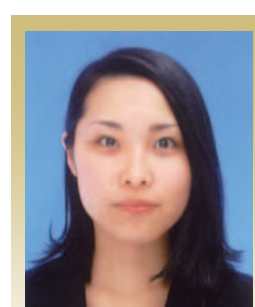
ある。地域、家庭、学校の連携。生涯学習の推進。学校の学習と社会とを関連付けた学習。そして、勤労観、職業観を身に付けることも必要である。大人が子どものモデルになることが大切である。生涯に渡って運動に親しむことにより、精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面に渡る健康の保持増進を図る。

私は、これから子どもに寄り添い、ますます複雑になる社会に、子どもたちが力強く生きていけるように導いていきたい。

平成二十五年三月に卒業し、早いもので五年が経ちました。現在私は、地方銀行で派遣社員として勤務しながら夕方時間外保育で週二日働いています。

当初は児童養護施設で勤務しておりました。子どもたちと接していく毎日の中で、自分の経験を積まないと子どもたちへ社会のことを伝えられないと考えました。また、虐待で入所してくる子どもが多い中、親と子どもの関係を考えたときに、乳児との関わり方がわからず、愛情表現がうまくいかずに手を上げてしまう方もいらつしやるのではないかと思います。児童養護施設での勤務時間は過酷で、二十四時間勤務を三交代制でまわしていきます。体調不良もあり、二年で退職してしまいました。

一度保育の現場を離れたことで、今自分に必要なことは何か、何をしたいのかと考えた時、現在の日本の核



藤澤 悠
(平成25年卒業)

私にできること



家族化により、自分の親から子どもへの愛情の伝え方、接し方等悩んでも教えてもらえず、一人で考え込みその結果虐待をしてしまっている方もいるのではないかと思います。難しく考えずに触れ合えるものとして、私はベビーサインやベビーマッサージ等の資格を取得しました。取得したことで満足してしまい、まだそれを生かしてなにかをするということは出来ていませんが、いつか役立つように努力したいと思っています。

漠然と虐待を減らしたいと思っても、規模が大きすぎて難しいです。まず自分に出来ることから始めて、社会経験を積み親の支援、そしていつか子どもたちにいろんな道を教えてあげられるような保育者になりたいと思っています。